

取組と目標に対する自己評価シート
 高齢者の自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

年度	令和5年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ アクション90（第2層）開催数：11回 ・ 孫世代のための認知症講座（延人）：1回、参加者数 93人 ・ 認知症サポーター養成講座（延人）：1回、参加者数 9人 ・ 介護家族リフレッシュ教室（延人）：5回、参加者数 31人（うち14人ボランティア）
自己評価結果【○】
<p>概ね計画通りに実施できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活支援体制整備事業においてアクション90（第2層）を11回実施し、地域に必要な助け合いについての話し合いや、事業の進捗報告などを行った。 ・ 孫世代のための認知症講座は小学校1校、中学校1校で実施。 ・ 介護家族リフレッシュ教室では、介護者が固定化している傾向はあるが、認知症サポーターがボランティアとして参加しており、介護者の交流の機会になっている。認知症カフェとしても位置付けているが、認知症の方の参加はない。
課題と対応策
<p>事業によっては参加者の固定化や地域ごとの進捗に差が出ている状況である。事業の周知は広く行うほか、必要そうな方へ直接声をかけるなど、柔軟に対応していく。また、地域ごとに進めている事業について、ニーズや課題を整理していく。</p>

後期（実績評価）

実施内容
自己評価結果【 】
課題と対応策

取組と目標に対する自己評価シート
高齢者の自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

年度	令和5年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容		
<table border="0" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 50%; vertical-align: top;">・通所型サービスA 実73人、延381人 ・訪問型サービスC 実5人、延10人 ・通所型介護予防教室 実16人、延74人</td><td style="width: 50%; vertical-align: top;">・介護予防地区自主活動団体数 16団体 ・介護予防ボランティア活動者数 実80人 ・地域リハビリテーション活動支援 13団体</td></tr></table>	・通所型サービスA 実73人、延381人 ・訪問型サービスC 実5人、延10人 ・通所型介護予防教室 実16人、延74人	・介護予防地区自主活動団体数 16団体 ・介護予防ボランティア活動者数 実80人 ・地域リハビリテーション活動支援 13団体
・通所型サービスA 実73人、延381人 ・訪問型サービスC 実5人、延10人 ・通所型介護予防教室 実16人、延74人	・介護予防地区自主活動団体数 16団体 ・介護予防ボランティア活動者数 実80人 ・地域リハビリテーション活動支援 13団体	
自己評価結果【○】		
新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行したが、感染対策に留意し、概ね計画通りに実施している。		
課題と対応策		
新型コロナウイルス感染症が5類移行後も、感染対策について健康教育を実施し、住民主体の通いの場等に対し継続支援を行っていく。		

後期（実績評価）

実施内容
自己評価結果【 】
課題と対応策

取組と目標に対する自己評価シート
介護給付の適正化に関する取組と目標

年度	令和5年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
①要介護認定の適正化 ・認定調査内容の点検を継続実施 ②ケアプランの点検 ・点検を実施中 ③住宅改修・福祉用具購入・貸与調査 ・それぞれの点検を継続実施 ④介護給付費通知 ・前期に通知を1回実施 ・後期にも通知を1回実施予定であり目標値の達成を図る ⑤縦覧点検・医療情報との突合 ・点検を継続実施
自己評価結果【○】
概ね計画通り実施できている。
課題と対応策
計画に沿って取り組めており、本取組に基づきより適正な介護保険事業の運用となるよう今後も努める。

後期（実績評価）

実施内容
自己評価結果【 】
課題と対応策